



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社MCJ

コード番号 6670 URL <http://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長

(氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 石戸 謙二

TEL 03-5821-7114

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	39,190	0.8	418	△71.8	551	△66.0	389	△56.1
24年3月期第2四半期	38,876	△5.7	1,487	5.5	1,623	5.5	886	1.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 291百万円 (△76.7%) 24年3月期第2四半期 1,249百万円 (291.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	7.65	—
24年3月期第2四半期	17.43	17.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	38,270	16,925	43.2
24年3月期	36,916	16,904	44.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 16,516百万円 24年3月期 16,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.14	5.14
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.26	3.26

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,279	6.3	1,478	△37.7	1,767	△32.4	1,104	△36.6	21.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4頁「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	50,862,300 株	24年3月期	50,862,300 株
25年3月期2Q	10,034 株	24年3月期	10,034 株
25年3月期2Q	50,852,266 株	24年3月期2Q	50,847,108 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3頁「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府発表の月例経済報告によれば、企業収益の持ち直しに頭打ち感がみられ、個人消費も緩やかな増加から横ばいに転じるなど依然として厳しい状況にあり、景気の不透明感が高まっております。また、当社グループが事業展開している欧州経済は、債務危機の影響からユーロ圏における実質GDPのマイナス成長が見込まれ、失業率も高止まりしており、引き続き厳しい環境で推移しました。

当社グループの属するパソコン業界におきましては、世界的な景気減速等の影響により、世界市場での総出荷台数は前年同四半期比で減少しました。また、社団法人電子情報技術産業協会の発表によれば、国内のパソコンの出荷台数は前年同四半期比0.8%増ながら、出荷金額は同10.9%減となり、販売単価の下落が続いていることにより市場規模は前年同四半期比で縮小しました。

このような状況の中で、当社グループは、「マウスコンピューター」「パソコン工房」をメインブランドとするBTO（受注生産）・完成品パソコンの製造・販売と、CPU（中央演算処理装置）・マザーボード・HDD（ハードディスクドライブ）をはじめとするパソコン基幹パーツの卸売・小売を中心に、引き続きマーケットのニーズを的確に汲み取りながら、適切な収益の確保を念頭に置いて事業を展開してまいりました。

また、パソコン市場の成熟化の進行は避けられないことから、持続的な利益成長を目指すうえで既存及び隣接する事業分野でのM&Aを有効な選択肢の一つと考え、法人市場向けにHDD・SSD（ソリッドステートドライブ）等を販売するソルナック株式会社を第1四半期より連結決算に組み入れたほか、愛知県を中心に小売事業を展開する株式会社グッドウィルを孫会社化（その後、子会社の株式会社ユニットコムにより10月1日付で吸収合併）し、第2四半期より連結決算に組み入れました。

これらの結果、主力であるパソコンの販売単価下落やパーツの販売低迷が続く中、当第2四半期連結累計期間の売上高は39,190百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。また、利益面におきましては、販売単価下落等により売上総利益率が前年同四半期比で低下し、営業利益は418百万円（前年同四半期比71.8%減）、経常利益は551百万円（同66.0%減）、四半期純利益は389百万円（同56.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(1) パソコン関連事業

「マウスコンピューター」ブランドによるパソコン、「iiyama」ブランドによる液晶ディスプレイ、及び「iriver」ブランドによるデジタルオーディオプレーヤーの国内製造・販売部門においては、法人向けの販売が前年同四半期実績を上回ったこと等により売上高は前年同四半期比で増加しましたが、販売単価の下落及びそれに伴う売上総利益率の低下等により営業利益は前年同四半期比で減少しました。

「iiyama」ブランドによる液晶ディスプレイの欧州販売部門においては、順調に販売台数を伸ばしたものの、円高ユーロ安の進行により売上高は前年同四半期比で減少しましたが、販管費の抑制等により営業利益は前年同四半期比で増加しました。

「パソコン工房」「Faith」「TWO TOP」「GOODWILL」ブランドで全国に店舗展開する小売部門においては、株式会社グッドウィルの買収効果により売上高は前年同四半期比で増加しましたが、価格競争の激化に伴う売上総利益率の低下等により営業利益は前年同四半期比で減少しました。

パソコン及びCPU・マザーボード・HDD等パソコン基幹パーツの代理店販売・卸売部門においては、パーツ販売市場の低迷等により、売上高・営業利益ともに前年同四半期比で減少しました。

これらの結果、当事業における売上高は38,263百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は348百万円（同75.2%減）となりました。

(2) メディア事業

メディア事業部門においては、出版市場の縮小が続く中、積極的に新刊を投入したこと等により売上高は前年同四半期比で増加しましたが、新刊増に伴う制作コストの増加等により営業利益は前年同四半期比で減少しました。

この結果、当事業における売上高は927百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益は51百万円（同25.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は38,270百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,354百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金や商品及び製品等が減少となったものの、現金及び預金の増加に加え、第1四半期連結会計期間末において株式会社グッドウィルを連結子会社としたこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は21,345百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,333百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等は減少したものの、短期借入金が増加したほか、株式会社グッドウィルを連結子会社としたこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は16,925百万円となり、前連結会計年度末と比べて21百万円の増加となりました。これは主に、その他の包括利益累計額が減少したことや剰余金の配当があったものの、四半期純利益により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて1,809百万円増加し、11,364百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は2,352百万円（前年同四半期比75.5%増）となりました。これは主に、法人税等の支払額623百万円、仕入債務の減少額266百万円等の減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益601百万円、売上債権の減少額1,446百万円及びたな卸資産の減少額1,033百万円等の増加要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は536百万円（前年同四半期比52.6%減）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入113百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出106百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出515百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は90百万円（前年同四半期は1,941百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2,393百万円や配当金の支払額258百万円があったものの、長期借入れによる収入1,650百万円や短期借入金の純増額1,150百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月24日に公表しました予想数値を修正しておりますので、平成24年10月30日付け「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

当社グループは、主力事業であるパソコン関連事業において、新製品及び新サービスの開発と、効果的な広告宣伝・販売促進施策の展開により、新たな顧客層を開拓することで売上高の増加に努め、連結業績予想の達成に向けて経営努力を重ねてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,615,314	11,429,956
受取手形及び売掛金	9,759,470	7,911,574
営業投資有価証券	9,586	4,430
商品及び製品	7,575,492	7,413,007
仕掛品	99,259	186,510
原材料及び貯蔵品	2,072,134	1,914,432
その他	1,695,347	1,588,456
貸倒引当金	△20,532	△13,919
流動資産合計	30,806,073	30,434,447
固定資産		
有形固定資産	2,773,378	3,413,063
無形固定資産		
のれん	1,354,803	2,008,402
その他	434,253	504,781
無形固定資産合計	1,789,056	2,513,184
投資その他の資産		
その他	1,579,321	1,941,866
貸倒引当金	△31,637	△31,586
投資その他の資産合計	1,547,684	1,910,279
固定資産合計	6,110,119	7,836,527
資産合計	36,916,193	38,270,975
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,514,312	4,507,697
短期借入金	5,651,604	7,217,241
未払法人税等	487,995	183,709
引当金	819,458	876,933
その他	2,317,310	2,044,750
流動負債合計	13,790,681	14,830,332
固定負債		
社債	500,000	671,000
長期借入金	4,643,531	4,556,588
退職給付引当金	579,535	723,386
その他の引当金	111,140	117,220
その他	387,292	447,127
固定負債合計	6,221,498	6,515,321
負債合計	20,012,179	21,345,654

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,849,104	3,849,104
資本剰余金	8,335,508	8,335,508
利益剰余金	5,214,076	5,341,831
自己株式	△5,934	△5,934
株主資本合計	17,392,754	17,520,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,587	△2,066
繰延ヘッジ損益	△25	△25
為替換算調整勘定	△950,402	△1,002,204
その他の包括利益累計額合計	△903,840	△1,004,297
少数株主持分	415,100	409,109
純資産合計	16,904,013	16,925,321
負債純資産合計	36,916,193	38,270,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	38,876,190	39,190,714
売上原価	31,199,006	32,316,227
売上総利益	7,677,183	6,874,486
販売費及び一般管理費	6,190,003	6,455,815
営業利益	1,487,179	418,670
営業外収益		
受取利息	28,425	11,091
受取配当金	75	75
負ののれん償却額	9,209	9,209
受取手数料	108,699	111,466
受取賃貸料	56,038	73,749
その他	22,600	19,643
営業外収益合計	225,049	225,235
営業外費用		
支払利息	49,776	35,732
為替差損	4,816	24,632
賃貸収入原価	17,027	23,626
その他	17,087	8,402
営業外費用合計	88,708	92,393
経常利益	1,623,520	551,513
特別利益		
固定資産売却益	571	5,592
投資有価証券売却益	—	13,363
負ののれん発生益	4,422	1,716
受取保険金	17,186	31,416
特別利益合計	22,180	52,089
特別損失		
減損損失	16,632	1,587
和解金	54,340	—
その他	79,764	187
特別損失合計	150,737	1,775
税金等調整前四半期純利益	1,494,964	601,826
法人税、住民税及び事業税	598,429	215,401
法人税等調整額	△10,522	△5,600
法人税等合計	587,906	209,801
少数株主損益調整前四半期純利益	907,057	392,025
少数株主利益	21,019	2,889
四半期純利益	886,037	389,135

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	907,057	392,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	236	△48,654
繰延ヘッジ損益	140,505	—
為替換算調整勘定	201,678	△51,802
その他の包括利益合計	342,419	△100,456
四半期包括利益	1,249,477	291,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,228,457	288,679
少数株主に係る四半期包括利益	21,019	2,889

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,494,964	601,826
減価償却費	180,765	168,993
減損損失	16,632	1,587
のれん償却額	52,449	68,788
負ののれん償却額	△9,209	△9,209
負ののれん発生益	△4,422	△1,716
受取利息及び受取配当金	△28,500	△11,166
支払利息	49,776	35,732
為替差損益 (△は益)	38,097	10,993
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△13,363
有形固定資産売却損益 (△は益)	△571	△5,592
売上債権の増減額 (△は増加)	343,727	1,446,290
たな卸資産の増減額 (△は増加)	783,333	1,033,669
仕入債務の増減額 (△は減少)	△622,940	△266,851
その他	△56,826	△225,206
小計	2,237,276	2,834,775
利息及び配当金の受取額	22,431	10,772
利息の支払額	△52,997	△32,965
法人税等の支払額	△932,028	△623,945
法人税等の還付額	65,934	164,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,340,615	2,352,758
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,808	△4,804
有形固定資産の取得による支出	△812,109	△106,135
有形固定資産の売却による収入	571	9,844
無形固定資産の取得による支出	△142,290	△48,080
差入保証金の差入による支出	△47,797	△4,818
差入保証金の回収による収入	35,966	53,336
投資有価証券の売却による収入	30,000	113,959
子会社株式の取得による支出	△80,120	△8,010
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△515,752
貸付けによる支出	△100,000	△40,000
その他	△10,476	13,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,131,065	△536,547

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,113,822	1,150,000
長期借入れによる収入	1,300,000	1,650,000
長期借入金の返済による支出	△1,966,184	△2,393,075
社債の償還による支出	—	△45,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	3,275	—
配当金の支払額	△154,715	△258,282
その他	△9,783	△13,329
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,941,230	90,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	179,630	△96,687
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,552,049	1,809,836
現金及び現金同等物の期首残高	13,120,290	9,554,764
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,568,241	11,364,601

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	パソコン 関連事業	メディア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,995,603	880,587	38,876,190	—	38,876,190
セグメント間の内部売上 高又は振替高	439	—	439	△439	—
計	37,996,042	880,587	38,876,629	△439	38,876,190
セグメント利益	1,401,779	69,582	1,471,361	15,818	1,487,179

(注) 1. セグメント利益の調整額15,818千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△218,896千円、セグメント間取引消去234,708千円、その他の調整額6千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	パソコン 関連事業	メディア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,262,969	927,744	39,190,714	—	39,190,714
セグメント間の内部売上 高又は振替高	592	—	592	△592	—
計	38,263,562	927,744	39,191,306	△592	39,190,714
セグメント利益	348,316	51,616	399,933	18,737	418,670

(注) 1. セグメント利益の調整額18,737千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△209,951千円、セグメント間取引消去228,684円、その他の調整額5千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。